



大地の実り

水戸市立下大野小学校
学校便り NO. 14
平成28年12月19日

よくがんばった 校内持久走大会！

12月16日（金）、延び延びになった校内持久走大会がようやく実施されました。5分間走として継続練習はしてきたものの、この日はベストコンディションとはいかなかったかもしれません。歴代新記録まであと一步の児童もあり、残念でした。グラウンド事情のため学校外周のコースだったのですが、たくさんの道路警備のボランティアの方々、応援の保護者の皆さんが駆けつけてくださり、うれしく思いました。応援の声が、子どもたちの背中を押していました。走り終えた子どもたちの顔は、満足気だったり、残念そうだったり。でも、爽やかな顔でした。持久走は、得意・不得意はあっても、鍛えれば鍛えただけ、心肺機能が高まり、ある程度の結果がついてくる種目です。毎日の登下校の歩きや、5分間走の真剣さ、普段の運動量が大事です。大変なことから逃げないという心を育てることも大事です。強い心と体づくりのためにも、今日の持久走で終わりということではなく、自分を鍛えるということを意識するよう、継続して指導を続けていきたいと思います。学校では、次は縄跳びに挑戦です。ご協力、ありがとうございました。

【入賞者】（参考 1・2年 700m, 3・4年 1,000m, 5・6年 1,500m）

1年	1位	清水 歩	3' 05"	5年男	1位	大和田拓夢	5' 52"
	2位	久保田 慎	3' 06"		2位	久野 鉄太	5' 54"
	3位	市毛 陽斗	3' 13"	5年女	1位	荻谷 碧衣	6' 13"
2年	1位	大和田陽翔	2' 58"		2位	高橋 梨乃	6' 14"
	2位	高橋 真花	2' 59"	6年男	1位	大和田歩夢	5' 42"
3年	1位	大谷 和那	4' 02"		2位	一家 葵	5' 45"
	2位	松浦 優雅	4' 13"	6年女	1位	久野穂乃花	6' 07"
	3位	久保田 楓	4' 14"		2位	雲井 乃愛	6' 16"
4年男	1位	久野 陸人	3' 57"		3位	鈴木優里花	6' 34"
	2位	吉川 怜佑	4' 01"				
	3位	栗原 吏市	4' 03"				
4年女	1位	吉本 愛里	4' 27"				



十二月の暗唱

冬の星座

堀内 敬三

木枯らしとだえて さゆる空より
 地上に降りしく 奇しき光よ
 ものみな憩える しじまの中に
 きらめき揺れつつ 星座はめぐる
 ほのぼの明かりて 流るる銀河
 オリオン舞い立ち スバルはさざめく
 無窮をゆびさす 北斗の針と
 きらめき揺れつつ 星座はめぐる

4年生で、備前堀についての授業を行いました

先日、郷土の歴史に詳しい住みよい下大野をつくる会会長飛田邦夫様、千波湖土地改良区理事の鈴木将一様にご来校いただき、4年生の社会科と水戸まごころタイムの授業を兼ねて、備前堀についての授業を行いました。4年生では「郷土の発展につくした人々」を笠原水道で勉強しています。しかし、下大野では、やはり備前堀を作った伊奈備前の守や、工事を指揮したという下大野の平戸大膳、そして工事に携わった備前堀沿いの人々こそが、この豊かな水田地帯をつくりあげた郷土を拓いた人々です。ぜひ、そのことをお二人のゲストティーチャーのお話から、知ってほしいと思いました。水戸教学が学習内容に織り込まれた水戸まごころタイムの授業としても、備前堀を知ることはこの下大野にとっては欠かせない内容と思い、簡単ですが自作の冊子も作ってみました。飛田さんからはどのようにしてこの備前堀ができていったか、鈴木さんからは、江戸時代から現在につながる備前堀を守る仕組み、水をいきわたらせる努力等についてお話ししていただきました。4年生の感想をいくつかご紹介いたします。



備前堀の秘密を聞いた

4年 大和田 蓮

今日は飛田さんと鈴木さんと校長先生に備前堀のことを聞いてよかったですと思いました。なぜかという、ぼくは歴史が好きなので興奮しました。ぼくが1番気に入った話は、工夫の話です。理由は工夫をいっぱいして、町を豊かにしたんだということが1番伝わるからです。ぼくもその大切さがわかった気がします。これからもその大切さを大事にしていきたいなと思います。また、昔のことを話してくれる時間があったら、ぜひお願いします。

備前堀のことが知れた！

4年 清水 萌花

わたしは備前堀のことを勉強して、昔はとても苦勞していたんだなと思いました。千波湖土地改良区の話の時は、昔の人の努力で今がこんなに豊かであることができるのだと思いました。私はこの勉強をして、田んぼへ水がゆきわたるように、昔から今へと努力を続けていたんだとわかりました。本当にありがとうございました。

備前堀はどのようにしてできたか

4年 金澤 凌玖

飛田さんと鈴木さんに話を聞いて、備前堀の作られてきた流れのことなどがすごくわかりました。大ぜいの人が関わって作り、大変そうでした。今も備前堀や千波湖があるのは、人々が大切に守っているからだと思えます。こんなに分かったのは飛田さんと鈴木さんのおかげです。ありがとうございました。

第2回 学校力向上委員会が開催される



12月15日(木)、本校の学校関係者評価委員会である「学校力向上委員会」が行われました。これは、学校で行っている内部評価(保護者の皆さま、児童、職員)と、普段の学校の活動などについて知っていただいたことをもとに、学校の運営に関して、アドバイスをさせていただくという機関です。そのメンバーは、江口孝史様、佐藤和子様(この日は欠席)、立原正江様、吉川勲様、吉川光昭様、林真己様です。第2回目のこの日は、給食の様子や5時間目の授業などを見ていただきました。1・2年生はクリスマスに関する単語を使った英会話の活動、3年生は体育館でのなわと

び、4年生は図工室での木工工作、5・6年生は性教育の講演会でした。みんな、のびのびと明るい表情で勉強していると言ってくれて、うれしく思いました。ただ、**小規模校でいかに競争心をつけて鍛えていくかとか、登下校時の車での送迎を、子どもたち自身があまりにも期待してしまっているのでは…**といった話題も出ました。学校としても、子どもたちの元気をみんなで協力して育てていきたいと考えています。少人数にかかわらず大きな場所でも堂々とその子のよさが発揮できるようにしたいものです。これからの時代を生き抜いていく子どもたちですから、少々のことには負けずに頑張ろうという向上心をもった子どもにもしたいです。大勢の方に見ていただき、関わっていただく機会があると、子どもが伸びます。責任をもって行動しようとしたり、自分に自信をもち、自ら伸びていこうとしたりします。そういった機会を意図的に作っていききたいと思えます。

学校力向上委員会でのご意見を参考にしながら、下大野の子どもたちのよさをさらに伸ばしていきたいと思えます。ありがとうございました。